

## 教育・福祉の充実と 子育て支援による安 心して子どもを産み 育てる元気なまち

全国的に子どもたちをめぐる犯罪や事故が多発し、いじめ問題が深刻化するなか、子どもたちが命の大切さを感じながら、心身ともに健やかに成長していけるように家庭や学校、地域がともに力を合わせていかなければなりません。このため、子どもたちの安全を確保する『見守り隊』や思いやり的心を育てる『いじめなし運動』といった地域ぐるみの取り組みを提唱したところであり、関係機関や団体との連携を深めながら引き続き積極的に推進していきます。

また、不妊治療や子どもの医療費に対する助成など子育て世代の経済的な負担軽減を図るほか、幅広いニーズに応じた保育サービスなどきめ細かな子育て支援策を講じることにより、安心感と喜びに満ちて子どもを産み育てることのできる環境づくりに努めます。

### ●留守家庭児童クラブ管理運営事業 4648万円

就労等により、昼間保護者のいない家庭の児童（小学1～3年生）に対し、安全な生活の場や遊びの場を提供し健全な育成を図ります

問合せ先 教育総務課

財源 県1515万円 児童クラブ利用料1575万円 児童クラブ保険料受入金31万円 市1527万円



### ●一時保育促進事業 501万円

保育園児でない在宅の乳幼児を一時的に保育所において保育します

問合せ先 福祉課

財源 県334万円 市167万円

### ●幼児インフルエンザ予防接種費助成事業 193万円

小学校就学前児童のインフルエンザ予防接種に要する費用の一部を助成し、保護者の負担軽減を図ります

問合せ先 福祉課

財源 市193万円



### ●子育てファミリーサポート事業 32万円

一時保育や休日保育で対応できない保育需要への対応として、アドバイザー（子育て支援センター）が依頼会員と提供会員を調整し、提供会員が保育サービスを提供します

問合せ先 福祉課

財源 県16万円 市16万円

### ●こども医療費助成事業 136万円

3歳～小学校就学前の児童について、入院時の医療費に係る自己負担額の一部を助成します

問合せ先 福祉課

財源 市136万円

### ●思春期における保健福祉体験学習事業 4万円

思春期の生徒に対し、性教育などに関する講演会や赤ちゃんとのふれあい体験実習を実施し、生命の尊厳や父性母性の育成を図ります

問合せ先 健康づくり課

財源 県2万円 市2万円



### ●不妊治療エンゼルサポート事業 75万円

不妊治療における人工授精・高度生殖医療は健康保険適用外であるとともに、治療費が高額であることから、その治療費の一部を助成し、不妊で悩む家庭の経済的負担の軽減を図ります

問合せ先 健康づくり課

財源 市75万円

### ●都市公園整備事業 3367万円

伊万里ファミリーパークの整備を引き続き行います

問合先 都市開発課 財源 国1500万円 市債1720万円  
市147万円



### ●スクールアドバイザー事業 447万円

教育相談の専門的な知識・経験を有するスクールアドバイザーを、スクールカウンセラー未配置校の小学校に3名配置し、適切なカウンセリングを実施します

問合先 学校教育課 財源 県223万円 市224万円

### ●学力向上対策推進事業 146万円

小中学校の児童生徒を対象に到達度テストなどを実施し、基礎学力の定着度合いを把握することにより、今後のきめ細やかな指導の充実を図ります

問合先 学校教育課 財源 教育振興奨励基金繰入金100万円  
市46万円

### ●特別支援児童生徒サポート事業 228万円

特別支援を要する児童生徒の介護、支援を行うため臨時雇職員を配置し、学習環境の向上、自立を図ります

問合先 学校教育課 財源 市228万円



### ●『オンリーワン』のさが体験活動支援事業 422万円

子どもたちの豊かな感性と郷土への理解と愛着を醸成するため、佐賀のよさを活かし、かつ地域の実状に応じた農林水産業や窯業などの地場産業体験活動を実施します

問合先 学校教育課 財源 県422万円

### ●特色ある学校創造事業 300万円

教育活動に関する予算の用途について、学校長の裁量の幅を広げることにより、創意工夫を生かした教育活動を行い、学校の自主性、自律性を向上させ、特色ある学校づくりを推進します

問合先 学校教育課 財源 教育振興奨励基金繰入金300万円



### ●きらきら伊万里っ子育成事業 80万円

児童生徒の豊かな心の育成および自己実現の基礎となる学力の向上をめざすため、これからの国際社会に対応できる人材の育成や教材開発などを行います

問合先 学校教育課 財源 教育振興奨励基金繰入金80万円

### ●小・中学校耐震化事業 327万円

平成18年度に実施した小中学校耐震化優先度調査に基づき、小中学校の耐震診断を行います

問合先 教育総務課 財源 国109万円 市218万円

### ●中学校建設事業 2億6581万円

老朽化の著しい国見中学校について、年次計画に基づき屋内運動場の建設を行います

問合先 教育総務課 財源 国6931万円 市債1億3550万円  
公共施設整備基金繰入金6000万円  
市100万円



●**幼稚園空調整備事業** 161万円

空調設備が未整備の黒川幼稚園について、年次的に整備することとし、今年度は遊戯室に空調を整備します

問合先 学校教育課 財源 市債120万円 市41万円

●**放課後子ども教室推進事業** 54万円

市内全ての子どもを対象に、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の人たちの参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを推進します

問合先 学校教育課 財源 国18万円 県18万円  
市18万円

●**ブックスタート事業** 33万円

生後3か月を迎えた赤ちゃんとその保護者に対して、3か月児健診時に絵本を配布するとともに、ボランティアと協働で読み聞かせを行います

問合先 市民図書館 財源 市33万円



市民協働の取り組み

5つの元気づくり政策を展開していくにあたっては、市民協働の取り組みが根底にあることはいまでもありません。

そこで、『市民が主役のまちづくり条例』をはじめ、各種のまちづくり宣言を通じて市民一人ひとりの実践、地域ぐるみの取り組みを促すとともに、タウンミーティングを継続して実施するなど市民の目線に立った市政運営に努めます。

また、すでにその兆しが見られる市民や地域主導によるまちづくりの流れを、各町コミュニティ単位での特色を生かした自主的な取り組みへとつなげ、『地域にできることは地域の手で』という、いわば地域分権をめざした元気な地域づくりに向けた、新たな仕組みを検討していきます。

●**第5次総合計画策定事業** 526万円

市政全般の方向性を示す重要な計画である第5次総合計画の策定に向けて、基礎調査などを実施します。

問合先 企画政策課 財源 市526万円

●**21世紀市民ゆめづくり計画支援事業** 389万円

市民と行政の協働による新しい伊万里、楽しい夢のあるまちづくりを実現するために、市民から夢づくり計画やアイデアを募集して支援を行います

問合先 男女協働・まちづくり課 財源 ふるさとづくり基金利子6万円  
市383万円

●**民間活動フォローアップ事業** 50万円

市民との協働による新しいまちづくりの活動や、独創性のある市民のまちづくりに対して支援を行うことにより、活動の活性化や市民主体のまちづくり、元気なひとづくりを行います

問合先 男女協働・まちづくり課 財源 市50万円

市民の目線に立った

市政運営に努めます

